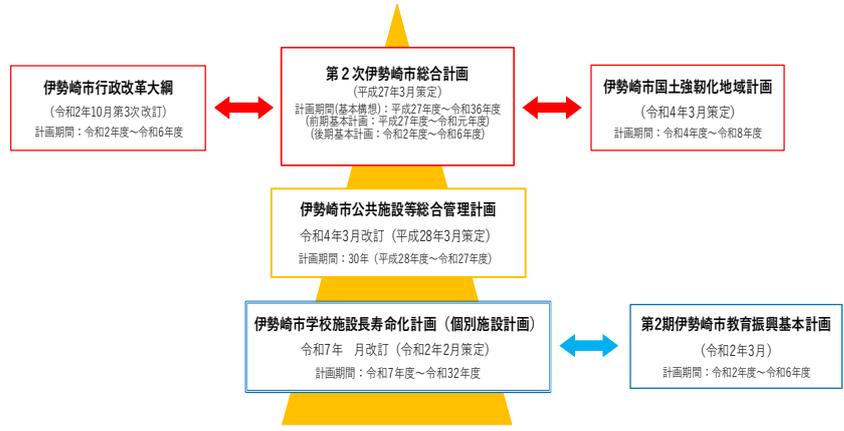


伊勢崎市学校施設長寿命化計画（個別施設計画）概要版（案）

令和 年 月

◆学校施設長寿命化計画の背景と目的

本計画は、公共施設等の更新費の財政負担への対策が急務となっている現状の中、学校施設について公共施設等総合管理計画に基づき児童生徒の教育環境の維持・向上を第一に、計画的に長寿命化を図ることで中長期的な維持管理や改修に係る更新コストの縮減と平準化を行い、将来を担う子どもたちが生き生きと学び、生活する場所として充実した学校環境の実現を目指すものです。



◆計画期間

計画期間は、令和7年度（2025年度）から令和32年度（2050年度）までの26年間とします。

計画期間	年度 和暦（西暦）	平成28年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年
		(2016)	(2020)	(2025)	(2030)	(2035)	(2040)	(2045)	(2050)
第二次伊勢崎市総合計画 後期基本計画（R2年度～R7年度）		前期	後期						
公共施設等総合管理計画 H28年度策定（R4年3月改訂版）		改定前実績	短期	中期	長期				
個別施設計画 R2年2月策定（R7年度改訂版）		改定前実績	短期	中期	長期				

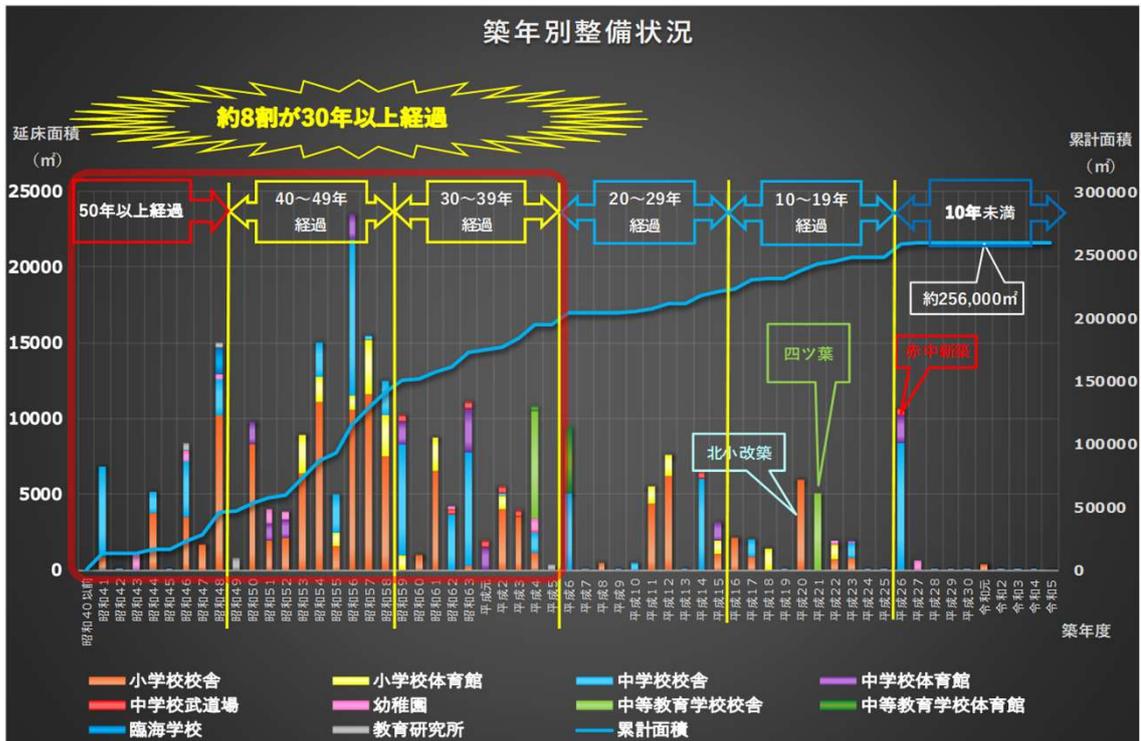
◆計画対象施設

小学校23校、中学校11校、中等教育学校1校、幼稚園7園、臨海学校1施設、教育研究所3施設
の計46施設、141棟と各小中学校のプール34施設、幼稚園のプール7施設を対象とします。

施設区分	施設数	棟数	延べ床面積
小学校	23校	74棟	139,692 m ²
中学校	11校	45棟	90,773 m ²
中等教育学校	1校	4棟	16,941 m ²
幼稚園	7園	12棟	5,440 m ²
臨海学校	1施設	1棟	1,736 m ²
教育研究所	3施設	5棟	1,925 m ²
計	46施設	141棟	256,507 m ²

◇学校施設の状況

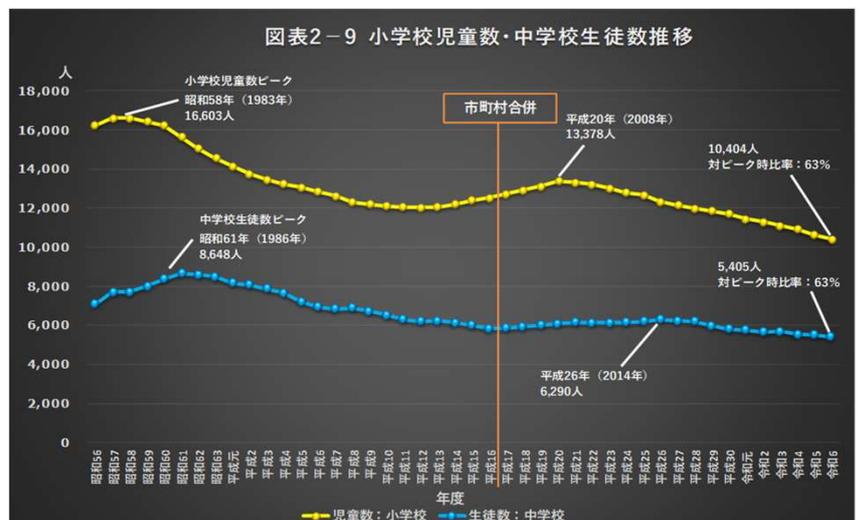
学校施設は、本市の所有する施設面積の約36%を占め、このうち建築後50年以上経過した建物が15%、建築後40～49年経過が42%、30～39年経過が22%で、30年以上経過した建物が全体の79%を占めている状況です。



対象建物	築50年以上(24棟)	築40年以上 50年未満(54棟)	築30年以上 40年未満(32棟)	築20年以上 30年未満(14棟)	築10年以上 20年未満(15棟)	築10年未満(2棟)
141棟	3.8万㎡ (15%)	10.8万㎡ (42%)	5.7万㎡ (22%)	2.6万㎡ (10%)	2.9万㎡ (10%)	0.1万㎡ (1%未満)
25.6万㎡	築40年以上(78棟) 14.6万㎡ (57%)		築30年以上(110棟) 20.3万㎡ (79%)		築20年以上(124棟) 22.9万㎡ (88%)	

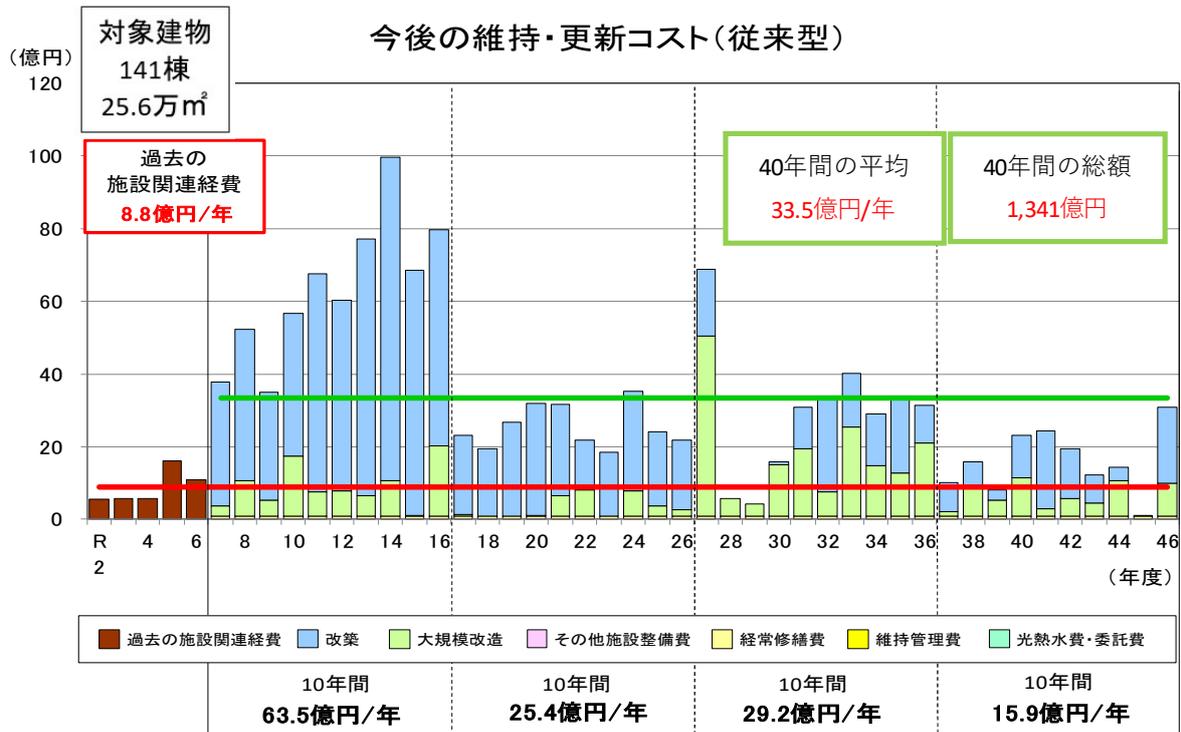
◇児童・生徒数の推移

小学校の児童数は、昭和58年度
の16,603人をピークに減少し、平
成13年度に一度増加傾向に転じた
ものの、平成20年度の児童数
13,379人を第2のピークに再び減
少傾向に転じています。同様に、
中学校の生徒数も昭和61年度の
8,645人をピークに減少し、平成
17年度に一度増加傾向に転じ微増
が続いたものの、平成26年度の
6,290人を第2のピークに再び減少
傾向に転じています。

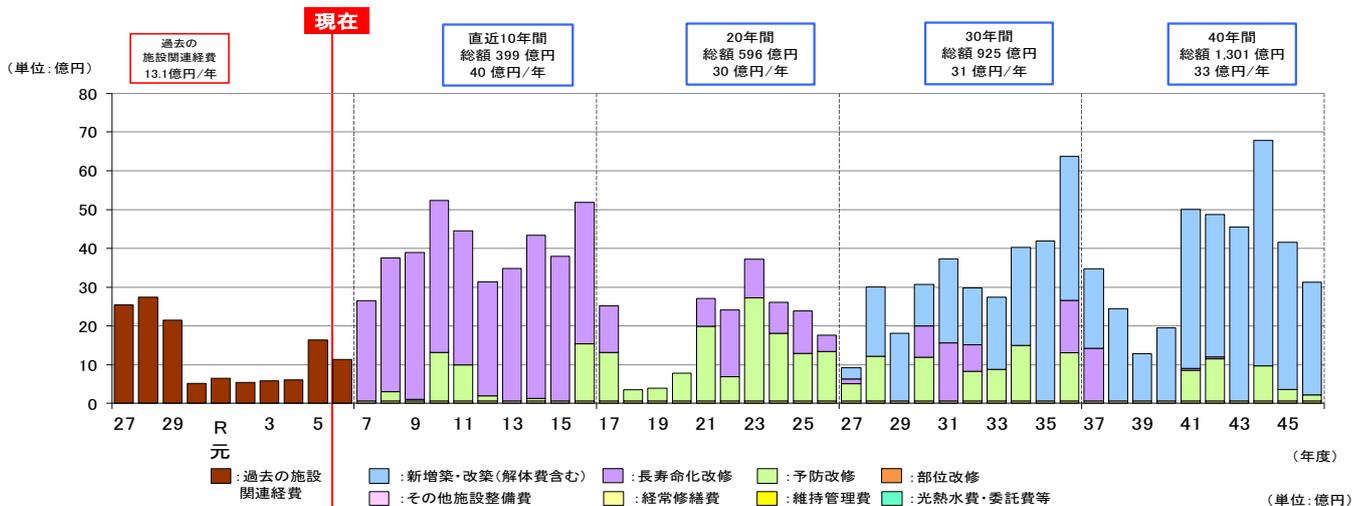


◇長寿命化の必要性

直近の5年間の工事費等の施設関連経費は約44億円で、これを年平均にすると約8億8千万円となります。従来型の場合、令和7年度から46年度までの40年間に掛かる更新コストは総額で約1,341億円、年度当たりになると約34億円で関連経費の平均を大きく上回り年約25億2千万円超過することになります。従来型から長寿命化に切り替えた場合、40年間に掛かる更新コストは総額で1,301億円、年度当たり約33億円と試算され、従来型と比較して総額で39億円、年度当たり約1億円の縮減効果が生まれた一方、関連経費の平均と比較すると約7億2千万円超過しています。



従来型から長寿命化に転換

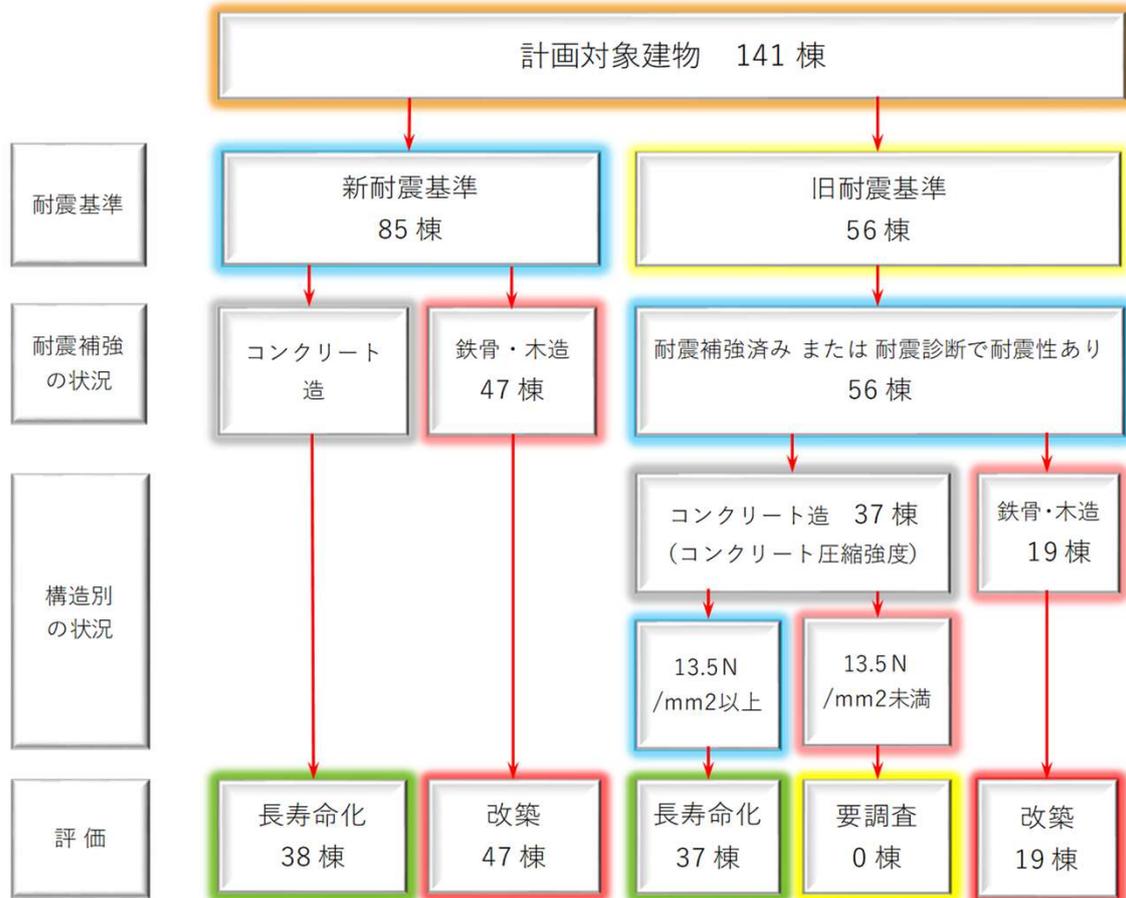


長寿命化へ転換することにより縮減されるコストに加え、関連経費の平均を上回る24億2千万円をさらに圧縮するなど、計画期間26年間を見据えた平準化を行い、改修箇所の精査や工法の実選など、改修等の計画の策定を進める必要があります。

◇老朽化状況の把握

○構造躯体の健全性の評価フロー

老朽化状況について、構造躯体の健全性、構造躯体以外の劣化状況の把握のための調査を行い、これらの2つの点から詳細に把握・評価しました。



○構造躯体以外の劣化状況

構造躯体以外の劣化状況は、詳細な現地調査により、これまでの維持管理・整備水準について評価しました。健全度60点以上の建物は141棟中136棟で率にして約96%、40点以上59点以下の建物は5棟で率にして約4%で、事後保全ながら適切に維持管理を実施してきたこと、施設によっては耐震改修工事時において屋根・防水、外壁等の改修を実施したこと等により、老朽化は進んでいるものの施設の健全度は適切に保たれている結果が明らかとなりました。

健全度一覧

健全度	劣化状況
80点以上	おおむね良好
60点以上80点未満	部分的に劣化等が見られるが安全上、機能上問題なし
40点以上60点未満	広範囲に劣化等が見られ、安全上、機能上低下している
40点未満	劣化の度合いが大きく安全上、機能上問題であるため対応が必要

◇学校施設整備の基本的な方針

○学校施設の目指すべき姿

学校施設の現状を把握し、明かとなった課題に対する取り組み等を通して、総合計画をはじめ公共施設等総合管理計画等の上位計画の基本理念にもとづき本計画において具体化していくための指針として、『学校施設の目指すべき姿』を設定しました。

学校施設の目指すべき姿

① 安心、安全な学校施設づくり

・学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場所であることから、施設の安心、安全を確保するため、建物や設備の老朽化対策や非構造部材の耐震対策、防犯対策など安全対策を推進し、計画的に施設の整備・充実を図ります。

② 学習環境が充実した学校施設づくり

・多様な学習内容や学習形態に対応できる教室の整備をはじめ、特別教室の多機能化やICT環境の整備など学習環境の質的向上に加え、学校教育の進展に柔軟に対応できる施設整備に取り組みます。

③ 生活環境が整った学校施設づくり

・家庭などの生活様式に対応した空調や衛生設備の更なる充実に加え、スロープや施設の実情に合わせたエレベーターの整備、内装の木質化など、障害の有無を問わず誰もが快適に学校生活が送れるよう、ユニバーサルデザイン化された施設整備に取り組みます。

④ 環境に配慮した学校施設づくり

・省エネルギーと創エネルギーのバランスのとれた施設整備とともに、県産木材の利用など資源の有効活用に努め、地球環境や地域環境に配慮した、環境教育にも活用できる施設整備に取り組みます。

⑤ 長期間にわたって持続可能な学校施設づくり

・事後保全型の管理から予防保全型の管理へ転換し、長寿命化を前提とした効率的で計画的な改修を実施し、学校施設が長期間にわたって良好な状態を維持できるように努めていきます。

・地域の大切な資産でもあり地域の防災拠点でもある学校施設を、耐久性が高く長持ちする部材や工法の採用、維持管理を容易にするなどライフサイクルコストの低減を図るとともに、よりよい教育環境の構築に向けて学校の規模や配置の適正化を地域と共に検討していきます。

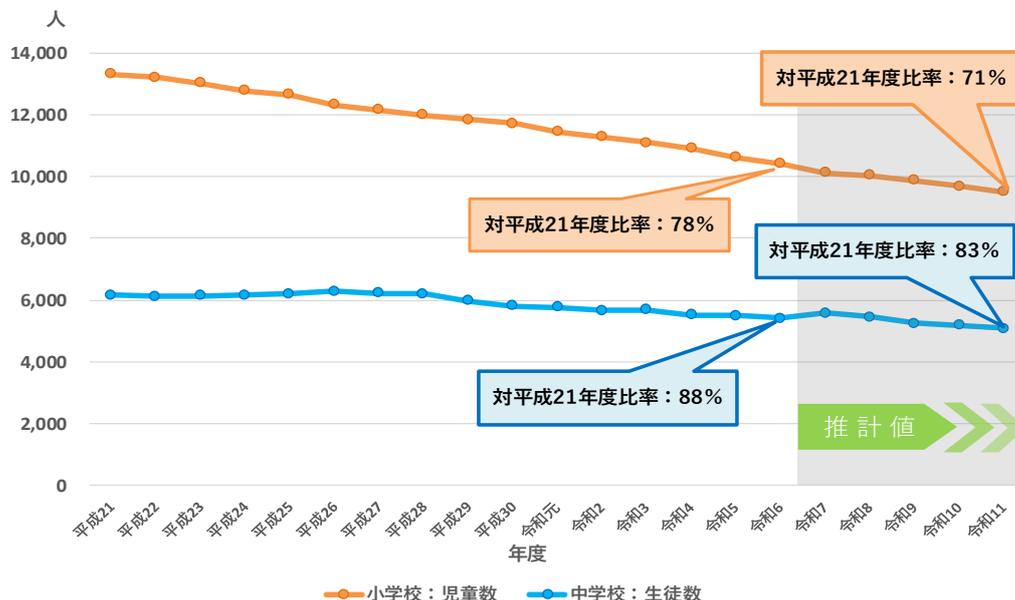


「学校施設の長寿命化改修に関する事例集」（文部科学省）より

○児童・生徒数の推計

教育委員会が独自に試算した推計では、児童数は引き続き減少傾向を示し、生徒数は微増が続いた後、令和4年度（2022年度）には減少に転じる推計結果となりました。

図表4-1 児童生徒数：過去10年間の推移と将来5年間の推計

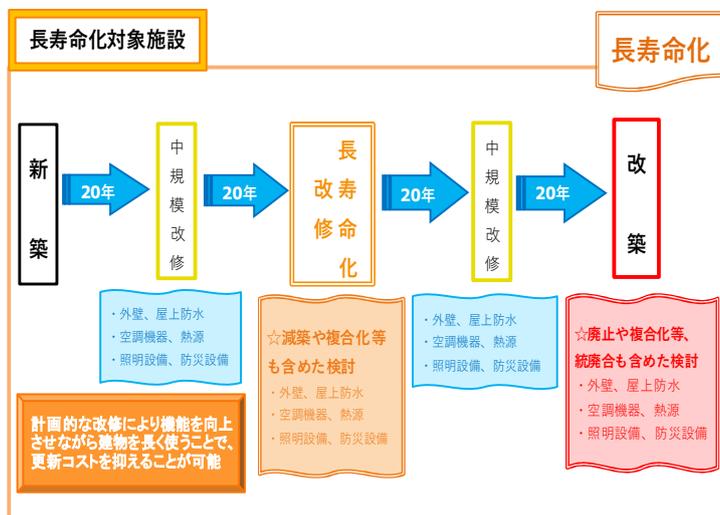


推計の結果では、計画期間の短期・中期に統廃合を前提とした検討に入らなければいけない状況ではありませんが、市全体としては児童数の減少が進んでいくことから、学校ごとの児童生徒数の推移に十分注視し、必要に応じて将来推計を実施して適切な時期で検討を始めることが必要となります。

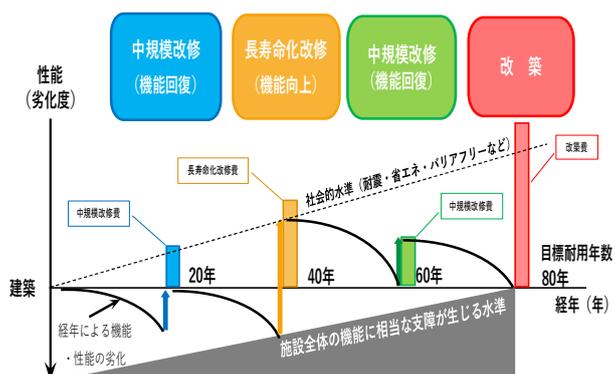
○改修等の基本的な方針

公共施設等総合管理計画における基本的な考え方にもとづき、施設に求められる機能水準を適切に維持し、長期間の使用を継続するため、定期的な点検や劣化状況の調査によって建物の健全性の状況を継続的に把握し、計画的に適切な改修を実施する『予防保全』型の維持管理へ転換します。

改修サイクルのイメージ：予防保全



長寿命化のイメージ図



◇長寿命化の基本的な方針

○長寿命化の方針等を踏まえた施設整備と具体的な取り組み

① 安心、安全な学校施設づくり

- ①非構造部材の耐震化
- ②飛散防止フィルム等により窓ガラスの破片の飛散を防ぐ
- ③バリアフリー化された動線の確保

② 学習環境が充実した学校施設づくり

- ①文部科学省の『小・中学校施設整備指針』に基づく学習内容・学習形態の多様化への対応
- ②フレキシブルな利用を可能にするレイアウトの見直しと可動間仕切り等の設置
- ③LANケーブルの整備・Wi-Fiステーションの設置
- ④タブレット、プロジェクター、電子黒板などのICT機器の整備

③ 生活環境が整った学校施設づくり

- ①校庭から玄関、教室、体育館への動線の段差解消のためのスロープの設置や手摺の整備
- ②多目的トイレの更なる整備
- ③学校ごとの実情と必要に応じたエレベーターの整備
- ④誰もが認識しやすいサイン計画や色彩計画などの検討
- ⑤内装の木質化：県産材を使用した内装の木質化によりあたたかみと潤いのある空間を確保
- ⑥美観の回復

④ 環境に配慮した学校施設づくり

- ①断熱材や複層ガラスの更新による断熱性能の向上
- ②高効率型・省エネ型の照明器具（高効率照明（LED））への更新
- ③高効率型・省エネ型の冷暖房機器への更新
- ④太陽光発電の導入
- ⑤庇・ルーバー等の設置

⑤ 長期間にわたって持続可能な学校施設づくり

- ①長寿命化：計画的な改修により、従来の40～50年の更新サイクルを長寿命化対象施設で80年に、それ以外の施設で60年に伸ばすことで更新コストの抑制と平準化を行う
- ②学校の負担の軽減と経費の抑制：
 - ・仮設校舎の設置の要否の検討
 - ・改修等工事の効率化
 - ・児童生徒数の推移や余剰施設の減築を見据えた適正規模化による経費の抑制

○実施スケジュール

施設名称	建物(棟)名称	短期	中期	長期			長寿命化改修事業 対策概算費用(千円)	その他改修事業 対策概算費用(千円)
		R7～(5ヵ年)	R12～(5ヵ年)	R17～(5ヵ年)	R22～(5ヵ年)	～R32(6ヵ年)		
名和小学校	校舎	(長)	(長)(改)		(中)		2,099,841	123,100
	体育館	(大)						
第一中学校	校舎		(改)				2,902,402	132,000
	体育館		(改)					
第一幼稚園	園舎		(改)				377,030	24,200
教育研究所適応指	校舎				(大)		168,300	15,200
赤堀小学校	校舎	(長)	(長)(改)		(長)(中)		2,564,493	176,700
	体育館	(大)						
境采女小学校	校舎		(改)		(長)		1,983,781	147,800
	体育館		(大)					
第三中学校	校舎				(改)		2,837,463	132,800
	体育館		(大)					
名和幼稚園	園舎		(改)				251,231	0
あずま幼稚園	園舎	(大)					69,930	20,000
三郷小学校	校舎		(長)		(改)		1,894,411	115,900
	体育館	(大)						
境東小学校	校舎		(長)		(改)(中)		1,698,751	76,700
	体育館	(大)						
殖蓮小学校	校舎		(長)		(改)		2,546,822	186,500
	体育館				(大)			
境剛志小学校	校舎	(長)(大)	(長)		(改)(大)(中)		1,884,061	101,000
	体育館	(大)						
教育研究所	校舎	(長)(大)			(中)		351,181	0
伊勢崎市臨海学校	臨海学校				(中)		260,400	32,100
境小学校	校舎	(長)			(長)(中)		2,129,522	115,300
	体育館	(大)						
豊受小学校	校舎		(長)		(中)		2,579,131	171,000
	体育館	(大)						
あかぼり幼稚園	園舎				(大)		258,930	22,800
殖蓮第二小学校	校舎				(長)		1,686,871	178,200
	体育館	(大)						
あずま小学校	校舎		(長)		(長)(中)		2,238,772	167,600
	体育館	(長)						
広瀬小学校	校舎		(長)		(中)		2,652,094	141,200
	体育館	(長)						
宮郷中学校	校舎	(長)	(長)		(長)(大)(中)		3,047,551	174,600
	体育館	(大)						
坂東小学校	校舎		(長)		(長)		1,608,212	115,800
	体育館	(大)						
境北中学校	校舎				(長)(大)		1,494,002	92,900
	体育館				(大)			
宮郷小学校	校舎	(改)	(長)		(長)		1,998,780	140,000
	体育館	(大)			(大)			
殖蓮中学校	校舎		(長)		(長)		2,264,282	144,400
	体育館	(大)						
あずま南小学校	校舎		(長)				1,505,701	147,100
	体育館	(大)	(大)					
南小学校	校舎				(長)		1,649,521	119,400
	体育館	(大)	(大)					
あずま中学校	校舎		(中)		(長)(大)(中)		2,140,831	192,500
	体育館				(大)			
茂呂小学校	校舎		(大)		(長)(大)		1,636,711	149,800
	体育館	(大)	(大)					
第四中学校	校舎				(長)		2,504,971	190,100
	体育館	(大)	(大)					
あずま北小学校	校舎				(長)		1,200,511	139,000
	体育館							
殖蓮幼稚園	園舎	(長)	(長)		(中)		278,880	15,700
	校舎		(大)		(長)(大)			
境西中学校	校舎		(大)				1,359,601	84,200
	体育館		(大)					
第二中学校	校舎				(長)		2,533,051	192,400
	体育館		(大)					
赤堀南小学校	校舎				(長)		1,355,311	192,500
	体育館				(大)			
北第二小学校	校舎	(中)	(中)				810,631	97,600
	体育館				(大)			
四ツ葉学園中等教育学校	校舎	(中)	(中)		(中)		2,541,151	251,700
	体育館		(中)					
教育研究所適応指	校舎		(大)				98,280	8,600
	校舎		(中)		(大)			
境南中学校	校舎				(大)		1,101,032	145,700
	体育館				(中)			
赤堀東小学校	校舎	(中)	(中)				990,991	161,400
	体育館				(大)			
宮郷第二小学校	校舎				(中)		1,142,931	171,200
	体育館				(中)			
宮郷幼稚園	園舎				(中)		271,200	21,400
北小学校	校舎				(中)		894,000	30,900
三郷幼稚園(休園中)	園舎						0	0
赤堀中学校	校舎						0	43,200
	体育館							

【凡例】

(改) : 改築 (大) : 大規模改修
 (長) : 長寿命化改修 (中) : 中規模改修

● : 照明設備 ● : 空調設備
 ● : 外壁、トイレ改修 ● : トイレ改修

◇個別施設計画の継続的運用

○マネジメントサイクルの構築

学校施設を長期間にわたって管理運営していくために、中長期的なマネジメントサイクル（PDCAサイクル）を確立して、本計画を継続的に運用していきます。

○施設情報の管理と活用

劣化状況調査および12条点検等の法定点検、管理者における日常点検の結果、修繕情報、施設の状態や過去の改修履歴、不具合状況などのデータベース化を検討し、あわせて公立学校施設台帳にある基本情報を確認・整合・反映させながら適切に管理していきます。

○推進体制等の整備

学校施設を所管する課が中心となり、関係部署と協議・連携を図りながら本計画の進行管理を進め、具体的な取組を実施する際には、議会に適宜報告するとともに、児童生徒をはじめ、教職員やPTAに対して説明会やアンケート調査、意見交換会等を実施するなど、市民の意見を反映しながら事業化を進めていきます。

伊勢崎市教育委員会